

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年5月28日（月）～6月3日（日）〔平成24年第22週〕の感染症発生状況

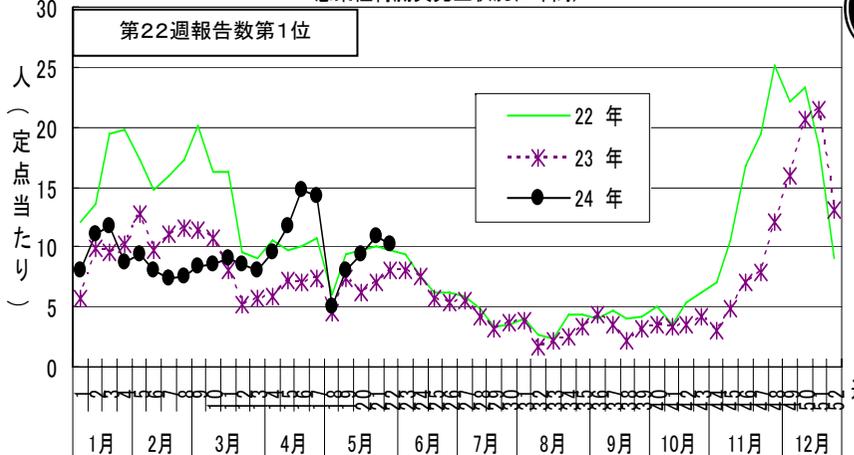
第22週で患者報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3)突発性発疹でした。

感染性胃腸炎は定点当たり10.21人と前週（10.97）より患者報告数はやや減少しましたが、例年に比べ高いレベルでの推移となっています。

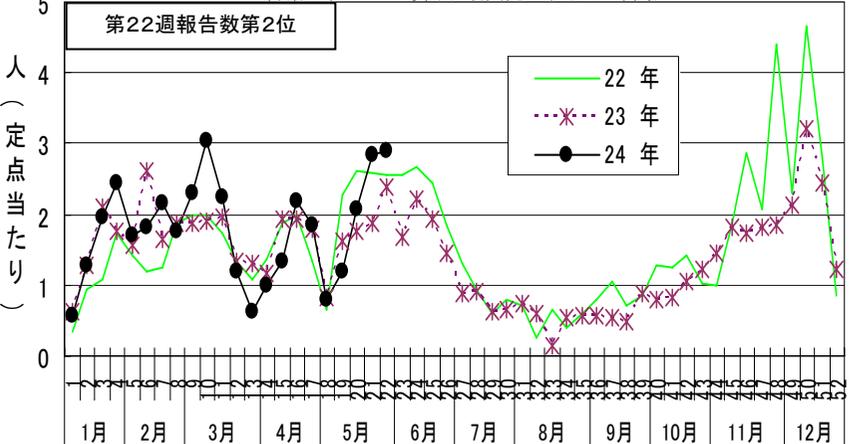
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は定点当たり2.91人と前週（2.85）より患者報告数は増加していますが、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

突発性発疹は定点当たり1.48人と前週（0.97）より患者報告数は増加しており、平成11年のデータ収集開始以来、同時期において3番目に多い報告数となっています。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



～夏でもけっこう流行るんです。感染性胃腸炎～

「感染性胃腸炎」というと、冬場のノロウイルスを思い浮かべますが、年間を通して発生します。夏場は細菌（腸炎ビブリオやサルモネラなど）、冬場はウイルス（ノロウイルスやロタウイルスなど）が原因となることが多い疾病です。原因となる細菌やウイルスにより症状は異なりますが、発熱、下痢、腹痛、嘔吐などが見られます。



感染経路

感染性胃腸炎は、患者の便や吐物などの排泄物やそれに汚染された手指、水、食品などから感染します。また、ウイルス性の胃腸炎では、便や吐物が乾燥して舞い上がることで、口から入り、感染することもあります。

予防方法

手洗い・うがいが基本ですが、食品の衛生的な取扱いにも注意しましょう。また、患者の便や嘔吐物は乾燥しないうちに早めに片付け、必要に応じて家庭用塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウム）などで消毒してください。



かかってしまったら…

体内の水分を多く失うため、水分補給をこまめに行いましょう。特に、乳幼児や高齢者は脱水症状になりやすいので、早めに医療機関を受診しましょう。

感染性胃腸炎発生状況(川崎市)

